

# 所得稅法改正法律案外七件特別委員會議事速記錄第四號

大正九年七月二十六日(月曜日)午前十時五十分開會  
 ○委員長(公爵德川慶久君) ソレデハ是カラ改メテ委員  
 會ヲ開キマス、先日ニ續キマシテ御質問ノアル方ハドウシテ御  
 質問ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ尙ホ此間特ニ申上ゲマ  
 セズデシタガ、他ニ此所得稅ノ外ニ數件此委員會ニ付託サ  
 レテアリマスガ、是モ政府委員ニ御質問ガアルナラバ、此際  
 願ツテ宜カラウト思ヒマス

○鎌田勝太郎君 私ハモウ質問ハシマセウガ、アノ衆議院  
 カラ廻リタ案デアリマスガ、アノ衆議院カラノ案ヲ大體説明  
 フシテ戴キマシテハ……

○委員長(公爵德川慶久君) 御説明下サイマセウカ  
 ○政府委員(松本重威君) 今ノハ……

○委員長(公爵德川慶久君) 唯今鎌田君ノ御尋ネニナリ  
 マシタ件ハ、衆議院提出ノ法律案ニアル筈デアリマスガ、其  
 法律案ノ内容ハ如何ナルモノデアルカ、政府側カラ説明ス  
 ルヤウト、斯ウ云フ意味デアリマスカ……ソレハソレナラバ  
 申上ゲマス、衆議院ノ提出シマシタ所ノ麥酒稅法中改正  
 法律案ハ、現行麥酒稅法ニ依リマス、麥酒ノ原料トスベ  
 キモノガ法律ニ規定シテアルノデス、大體原則トシマシテハ  
 麥芽、ソレカラ「ホブ」麥芽、ト「ホブ」之ヲ原料トシテ、サウシ  
 テ麥酒釀母ヲ加ヘテ醱酵サセタルモノガ麥酒デアル、之ヲ原  
 則トシテ置キマス、尙ホ此外ニデス、總重量麥芽ノ十分ノ五  
 ヲ超エタル米、玉蜀黍又ハ砂糖ヲ原料トシテ加ヘテモ之ヲ  
 麥酒ト看做ス、斯ウ云フコトニナラ居ルノデス、トコロガ此  
 米、玉蜀黍ノ外ニデス、馬鈴薯又ハ澱粉ヲ加ヘテ貴ヒタイ、  
 其主意ハデス、北海道ニ於テハ非常ニ馬鈴薯ノ收穫ガ多イ、  
 戰時中ハ澱粉ノ輸出ガ多ク、ノデ相當引合テ居リマシタ  
 ガ、モウ戰爭ガ終結シタ上ハ澱粉ノ需要ガ止マテ仕舞ツタ、  
 ソレガ爲ニ馬鈴薯並ニ今ノ澱粉ハ非常ニ捌ケ口ガ惡イ、北  
 海道ノミニモ非常ニ残り居ル、然ルニ此馬鈴薯澱粉ナル  
 モノハ麥酒釀造原料トシテ差支ヘナイト云フコトハ麥酒釀  
 造業者ガ言ウニ居ル、若シ之ヲ麥酒ノ原料ニ使フコトガ出  
 來ルナラバ大變都合ガ宜シカラ、ソレデ此原料ニ加ヘテ貴  
 ヒタイト云フノガ第一點、並ニ馬鈴薯モ追加シテ貴ヒタイス  
 ウ云フ意味ノ法律案デゴザイマス

○鎌田勝太郎君 其案ニ付テ政府ハドウ云フ御意見デア  
 リマス  
 ○政府委員(松本重威君) 其コトニ付キマシテハ先般大

藏省ノ方ヘ北海道ノ有志カラ請願ガアリマシタノデス、併シ  
 大藏省トシテハ果シテ馬鈴薯若クハ澱粉ナルモノガ、麥酒  
 釀造原料トシテ適當ナルモノデアルカ否ヤト云フコトニ付テ  
 ハ調査研究スル暇ガナク、ソレデ、從テデス、此法律案ガ  
 出テ來テモ、此規定シテ居ル所ノ原料以外ニ尙ホ馬鈴薯  
 若クハ澱粉ヲ使フテ果シテ麥酒固有ノ香味ヲ持タセルコト  
 ガ出來ルヤ否ヤ、或ハ貯藏等ニ差支ナキヤ否ヤ、夫等ノ點ニ  
 付テハ當局者トシテ十分確信ガナイコトデアリマス、衆  
 議院ニ於テハ我々ハ此案ニ付テ絕對ニ反對モ言ヒ兼ネルケ  
 レドモ、サウカト言フテ政府ニ確信ガナイカラシテ、之ニ對シ  
 テ賛成トカ反對ト云フ意思表示ハ兼ネル、斯ウ云フテ居  
 タ、トコロガ衆議院ノ方ノ側デハ、是ハ間違ヒナイト斯ウ云フ  
 テ居リマスガ、尙ホ押シ返ヘシテソレナラバ是ハ全ク釀造試  
 驗ヲヤツカ、而シテ其結果ガ果シテ良クカドウカ其效果  
 ガアルナラバ聞キタイ、斯ウ我々カラ反問シタ所ガ、ソレハ實  
 地釀造ハマダシテ居ラヌケレドモ、此事ニ付テハ、大日本麥  
 酒釀造會社ノ技師長ニ確メテ見タ所ガ、此澱粉ヲ麥酒原  
 料ニ使フコト云フコトハ現ニ北獨逸ニ於テモヤツテ居ル、而シ  
 テ澱粉ナルモノハ麥酒釀造原料トシテ使ヒマシテモ、チットモ  
 麥酒ノ品質ニ影響ハナイ、若シ原料ニ蛋白質ヲ含ンデ居ル  
 ナラバ之ガ爲ニ麥酒ニ混濁ヲ生ズル虞レガアルケレドモ、澱  
 粉ニハ決シテ混濁ヲ生ズル虞ハナイ、又貯藏等ニモ差支ナイ  
 ト云フコトハ十分書物ニ書イテアル、ソレデアアルカラ日本ニ  
 於テ之ヲ使フテモ決シテ差支ナイト思フ、斯ウ云フヤウニ  
 衆議院テ言フ、其儘衆議院ハ通過シテ、此方ヘ議決シテ  
 送テ參タト云フヤウナ譯デアリマシテ、政府トシテハ前申  
 マシタ通り、反對シテハ居ナイガ賛成ヲスルト云フ理由モナ  
 イ、斯ウ云フ状態デアリマス

○委員長(公爵德川慶久君) 他ニハ御質問ハゴザイマセ  
 スカ……ゴザイマセヌケレバ質問ヲ打切りマシテ、是カラ討  
 議ニ入ラウト思ヒマス

○子爵青木信光君 此所得稅法中改正法律案ノ中デ  
 一ツ修正ヲシタイ點ガゴザイマスガ、此修正ノ點ヲ申上ゲマ  
 シテドウカ皆サンノ御賛同ヲ願ヒタイト思ヒマス、第一種ノ  
 留保所得ノ所デゴザイマスガ、此留保所得ハ原案ノ稅率ハ  
 ドウモ我々ガ見マス、ト云フト重イヤウデアリマスガ、是ハ産業  
 獎勵ノ上カラ……保護ノ上カラ見テ成ルベク此留保所得ハ  
 低下シタイト存シマス、又會社ノ基礎ヲ固クスル上カラシマ  
 シテモ、此稅率ハ成ルベク輕クシタイト云フ我々ハ考デゴザ

イマス、ソレデ此原案ノ百分ノ七「コンマ」五ト云フノハ百分  
 ノ五ニ致シマシテ、其累進ノ百分ノ十五ト云フモノヲ百分  
 ノ十二改メ、百分ノ三十ヲ百分ノ二十二修正シタイト云  
 フノガ第一、ソレカラ第二第三種所得ニ對シマシテ、配當  
 金三割控除ト云フノヲ四割控除ト云フコトニ修正シタイト  
 タイト存シマス、ソレカラ免稅點デゴザイマスガ、第二十條  
 「第三種ノ所得ハ六百元ニ滿タサルトキハ所得稅ヲ課セス」  
 ト云フノヲ「八百圓ニ滿タサルトキハ所得稅ヲ課セス」  
 此六百圓ニ滿タサルトキハ所得稅ヲ課セス、以下  
 マス、詰リ最低ヲ八百圓ト云フコトニ改メタイト思ヒマス、其  
 結果財源ニ大分減額ヲ來シマス、其補填ノ爲ニ超過  
 所得稅ニ修正ヲ加ヘタイト存シマス、ソレハ利益金資本金  
 額ニ對シハ八分トゴザイマス、一割ト云フコトニ改メタイ  
 ト存シマス……チヨット失禮ヲ致シマシタ、原案ノ第二十一  
 條デゴザイマス「第一種ノ所得ニ對スル所得稅ハ左ノ稅率  
 ニ依リ之ヲ賦課ス」ト云フ所デ、所得金額中資本金額ニ對  
 シ年百分ノ八ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユル金額、  
 百分ノ二トナラテ居リマス、ソレヲ百分ノ十ノ割合ヲ以テ算  
 出シタル金額ヲ超ユル金額、百分ノ四ト致シマス、ソレカラ  
 「百分ノ二十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユル金額」  
 之ヲ「百分ノ十ト致シマス、百分ノ三十ノ割合ヲ以テ算  
 出シタル金額ヲ超ユル金額、百分ノ十五」トアリマス、ノ  
 分ノ二十」ト改メタイト存シマス、ソレカラ第二十二條「第  
 二種ノ所得ニ對スル所得稅ハ左ノ稅率ニ依リ之ヲ賦課ス、  
 甲、公債ノ利子、百分ノ二」トゴザイマス、ノ「百分ノ四」ト  
 致シマス、其他「トアリマス、ノ、是ハ別ニ其處ヘ文字ヲ入レ  
 マシテ「社債ノ利子、百分ノ五」、預金ノ利子、百分ノ五」斯  
 ウ修正シタイト考ヘマス、ドウカ御賛成ヲ願ヒタイト思ヒマ  
 ス

○委員長(公爵德川慶久君) 修正說ニ若シ御贊成ガナ  
 ケレバ其儘ニナリマスガ、若シ御贊成ガアルナラ御諮リヲ致  
 シマス

○男爵阪谷芳郎君 此度ノ政府ノ增稅計畫ト云フモノ  
 ニ付テハ餘リ贊成ハ致シテ居リマセウ、貴族院ハ屢、政府ニ  
 向テ財政計畫ノコトニ付テ一再ナラズ警告ヲ致シテ居リ  
 マス、次第デゴザイマシテ、殊ニ世界大戰爭ノ後ヲ承ケタ大  
 切ノ場合ニ於テハ、財政經濟上慎重ナル施設ヲ要スルノデ  
 アリマスガ、此政府ノ施設宜シキヲ得ラレナカッタガ爲ニ物  
 價ノ調節ヲ誤リ、遂ニ最近ニ於テ非常ナル財界ノ激變ヲ生

ジテ居ル際デアリマシテ、此際ニ又色々ナル増稅計畫ヲ實施スルト云フコトハ大體甚ダ面白カラヌコトデアアルノゴザイマス、ソレ故ニ既ニ政府ニ於テモ財政經濟調査會ト云フモノヲ設ケラレテ、色々調査中ニモナリテ居ルコトデアアルシ、成ルベク國民ノ苦痛ヲ輕減スルヤウナ方法ガ執リタイノデアリマス、併ナガラ政府ニ於テ、今年二月議會ニ解散セラレタル結果トシテ、前年度豫算ガ施行セラレ、又大切ナ國防計畫ト云フモノガ此度ノ臨時議會ニ提案ニナリテ居ルノデゴザイマシテ、之ニ向テドウシテモ相當ノ財源ガナクテハナラス、其爲ニ此度所得稅外數件ノ増稅案ガ政府カラ御提出ニナリテアリマス、然ルニ會期ハ短カシ、財界ノ混亂シテ居ル、又商業會議所ノ實業組合、工業俱樂部、其他諸會社、全國ヲ通ジテ各方面カラ種々ナ苦情モ訴ヘテ來テ居ルト云フヤウナ際デゴザイマス、實ハ貴族院ト致シマシテハ、此増稅議案ノ審査ニ當リマシテ甚ダ苦痛ニ感ジマス點ガアリマス、デゴザイマス、併ナガラ國防計畫ト云フモノハ到底已ムヲ得ヌ、又政府ガ議會ヲ解散セラレタガ爲ニ臨時議會ニ斯ウ云フ案ヲ提出ニナリタス、コトヲ非難シテ見タ所デ、既ニ過去トコトデアリマス、要ハドウシテモ今日ハ國防計畫ノ必要ヲ認メネバナラス時代ニナリテ居リマス、時期ハ切迫シテ居ル、サウ云フ際デアリマス、已ムヲ得ズ政府ノ御提案ヲ認メザルヲ得ヌ事情ニナリテ居ルノデアリマス、併シ各地方、又商工業各方面ノ訴ヘラレル所ヲ等閑ニ付スルト云フ譯ニハドウシテモイカナイ、殊ニ此度ノ所得稅ハ恰モ會社ニ向テ稅ヲカケタノデアリマス、併ナガラ日本ノ明治五十年間ノ進歩ヲ測テ見ルノニ、會社ノ功績ト云フモノハ決シテ是ハ減スベカラザルモノデアアル、會社ノ經營宜シキヲ得ヌモノデアリマス、併ナガラ會社ナカリセバ逆モ今日ノ大ナル發達ハ出來ナカッタノデアリマシテ、會社ニ向テアライ痛撃ヲ與ヘルト云フコトハ餘リ策ノ得タモノトモ考ヘヌノデアリマス、ソレ故ニ出來ル限リ各方面ノ苦痛ヲ緩和スルト云フ意味ヲ以テ、又種々ナル議論モアリマス、ルケレドモ、所得稅ヲ納メスト云フ議論ハナイノデ、唯課稅ノ方法ノ上デ多少緩和シテ貰ヒタイ、勿論所得稅法ガ延期シテ貰ヒタイト云フ論モアル、若クハ中ニハ所得稅ノミデナシニ地租ノ方ニモ課稅シテ貰ヒタイト云フ説モアリマシケレドモ併ナガラ多數ノ意見ヲ聽クト云フト所得稅ハ納メテ貰ヒタイガ、成ルベク納メ宜イヤウナ方法ニシテ貰ヒタイト云フ論デアリマス、ソレデ私ハ尙ホ此上ニモウ一層修正ヲ加ヘテ見タイト云フ希望モ有ナリマシタノデアリマシテ、同志ノ人ト其點ヲモ論究イタシテ見タイノデアリマシケレドモ、此唯今青木子爵ヨリ御述ベニナリマシタ、修正案ガ種々論究ノ結果先ツ多數ノ一致スル點デアッタノデアリマス、私ト致シマシ

テハ今少シク留保所得稅、其他ノ上ニ修正ヲ加ヘタ方ガ所得稅ヲ納メル人ノ苦痛ヲ感ゼズ、又會社ノ事業ニ痛撃ヲ與ヘテ將來產業ヲ破壞スルト云フコトモナク、而シテ收入ハ此政府ノ豫定通りニ取ラレラデアラウト云フ考ヲ以テマスノデアリマス、併ナガラ此多少ハ意見ノ相違ヲ御互ニ讓歩シナケレバ是ハ案ノ成立チヤウガナイ、斯ウ云フ譯デアアル、ソレ故ニ甚ダ此政府ノ財政經濟ノ施設、就中物價調節ニ對シ又財界ノ變動ニ對シ、又其變動ヲ起サシメタ原因ニ對シテ甚ダ自分ハ満足セヌ點モゴザイマス、國防ノ必要ト云フコトニ鑑ミマシテ、唯今青木子爵ノ御修正說ニ私ハ全然同意ヲ表シマス、併ナガラ此修正ノ結果トイタシマシテ、稅法ノ各部面ニ互ニイロイロ修正シナケレバナラヌ點ガアリマス、ヤウデアリマス、唯青木子爵ノ御述ベニナリマシタノハ、要綱ヲ御述ベニナリマシタノデアリマス、要綱ヲ可決スレバ方々ニ觸レル點ガアリマス、是ハモウ自然ノ結果デアラウト考ヘマス、ソレ等ハ相當ニ御修正ニ相成ル事トシマシテ、青木子爵ノ修正說ノ大體ヲ贊成ヲ表シマス

○子爵青木信光君 我ハ唯今修正說ヲ述ベマシタ時ニ、一箇所申落シマシタ所ガゴザイマス、補正設置キタイト思ヒマス、第二十一條ノ丙ノ原案百分ノ四トアリマス、ノ百分ノ五ト改メタイト思ヒマス、實ハ第二十一條ノ丙デアリマス、百分ノ四トゴザイマス、百分ノ五ト改メタイノデアリマス、一體政府ノ提出サレマシタ綜合課稅說ニハ主義トシテ贊成ヲシテ居リマス、譯デアリマス、衆議院ノ修正ニ於キマシテハンレラ破レマシテ、源泉課稅ト兩方併用スルヤウニナリテ居リマス、源泉課稅ニ重イ稅ヲ課ケタ方ガ宜イト云フ議論モアリマス、成ル可ク政府ノ綜合課稅ノ破レ方ヲ幾分輕クスル爲ニ、餘リ重クシナイデ五分ト云フ位ニ止メタイト思ヒマス、其修正ヲ申落シマシタカラ……

○鎌田勝太郎君 唯今青木子爵カラ修正ノ御意見ガ出マシタガ尙何ッテ置キタイノデアリマス、青木子爵ハ此法案ノ八十一條ニ法人ノ超過所得稅ノ實施ヨリ滿一年間六割一分ト原案ニアリマス、是ハ御修正ニナルノデアリマスカ、此儘御置キナサル積リデアリマスカ、此點ヲ伺ヒタイ、ソレカラモウ一ツ伺ヒタイノハ附加稅ノコトデアリマス、此度ノ所得稅ノ増徴ハ洵ニ國民トシテ苦シイ譯デアリマス、國防ノ爲メニ止ムヲ得ズ之ヲ承諾スル譯デアリマス、此本稅ノ增加シタ上ニ又附加稅ガ從來ノ如ク取ラレマスト云フト非常ナ苦痛ヲ感ジマス、此本稅ヲ增加スルト同時ニ附加稅ヲ少シ減縮スルト云フヤウナ御考ハナイデセウカ、此八十一條ノコトト附加稅ノコトトニ付テ、修正者ノ御意見ヲ伺ヒマス

○子爵青木信光君 八十一條ノ此六割一分ト云フ所デ

アリマスカラ

○鎌田勝太郎君 左様

○子爵青木信光君 是ハ詰リ此修正ノ結果、本稅ノ三割五分ヲ増徴スルト云フコトニナラウト思ヒマス、ソレガ一ツ斯ウ云フ所ハ政府委員ト委員長ト御相談下サイマシテ、結果ガサウ云フ風ノ割合ニナリマスタラバ、サウ云フ所ハ御修正ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(公爵徳川慶久君) 若シ此修正案ガ成立スルコトニナリマスレバ、其際私ハ御諮リ致サウト思ヒマス

○子爵青木信光君 此附則ノ所ハ此決マリマシテカラ後デ此地方附加稅ノコトニ付キマシテハ別ニ御相談ヲ願ヒタイト思ヒマス、之ニ付テハ意見ガゴザイマス

○委員長(公爵徳川慶久君) ナヨト御相談ト御諮リト致シマスガ……

○子爵青木信光君 我ハ附加稅ニ付キマシテハ少シ意見ガゴザイマス、附則トシテ附ケテ宜シイカドウカト云フコトハ、疑ッテ居リマス

○委員長(公爵徳川慶久君) 此問題ハ修正案ヲ決メマシタ後ニ願ヒマス

○和田彦次郎君 青木子爵ヨリ修正案ガ提出ニナリマシタガ、全然之ニ贊成デゴザイマス

○委員長(公爵徳川慶久君) ソレデハ青木子爵ノ修正案ニ御贊成ガゴザイマシタカラ、之ヲ問題トシマシテ、此場合何等外ニ御意見ガゴザイマセヌケレバ、修正意見ニ對スル可否ヲ採リタイト思ヒマス、何か御意見デモゴザイマスレバ、此際願ヒマス……ソレデハ御意見モゴザイマセヌヤウデアリマス、修正案ノ決ヲ採リマス、唯今青木子爵ノ述ベラレタ修正案ニ贊成ノ諸君ノ舉手ヲ請ヒマス

舉手者全員

○委員長(公爵徳川慶久君) 全會一致ト認メマス此際委員長カラ御諮リイタシマス、今ノ修正案ノ御趣意ニ付テノ法文トノ關係トカ、或ハ字句ノ關係トカ云フヤウナモノハ、委員長ニ御一任下サルコトハ出來マセヌデセウカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○子爵青木信光君 ソレハ阪谷サンカラ御説ガ出タヤウデアリマス

○委員長(公爵徳川慶久君) ソレデハサウ云フコトニ致シテ置キマス

○男爵阪谷芳郎君 唯今鎌田君カラ御説ガ出マシタガ、此所得稅ノ附加稅ガ掛リマス、デ非常ニ苦痛ガゴザイマス、中ニハ本稅ト同ジヤウナ稅ガ掛ルト云フヤウナ場合モア、併ナガラ是ニハソレ附加稅ノ制限ガ設ケラレテアリマシテ、又其ノ制限ヲ超過スル場合ニハ、内務省大藏省ニ

於テ極メテ嚴重ナル監督ガ加ヘラレテアル、ソレデアリマスカ  
ラ制限超過ト云フヤウナ場合ハ、水害デアルトカ或ハ流行  
病デアルト云フヤウナ、到底已ムヲ得ヌヤウナ場合デナクテ  
ハ許サレズ慣例ニハナクテ居リマス、又サウ云フ場合ニハ到  
底水害ナリ流行病ナリデ、増課シテ貫ハナケレバ非常ニ人  
民ハ困難ヲ感ズル譯デアルカラ、何等カ財源ヲ設ケテ處辨  
ヲシナケレバナラヌデアリマスカラ、如何ニモ尤モナル譯デ  
ハアルデアリマス、ガ此納稅者ト致シマシテハ、稅ノ重クナ  
タ上ニ又附加稅ガ同様ニ重クナテ來ル、非常ニ苦痛ヲ感  
ズル、本稅ガ例ヘバ一割デアルノニソレト同額ノ課稅ガアル  
ト二割稅ヲ拂ハナケレバナラヌト云フ譯ニナルデアリマス、  
殊ニ此度ハ隨分重イ租稅ニナルノデ、其附加稅ニ從來ヨリ  
モ一層徹底的ナ制限ヲ立テルト云フ說ガアリマスノデ、尤モ  
ニ考ヘラレマス、然ルニ其制限ヲ所得稅法ノ附則トスルト  
云フコトニ付テハ稍、穩カナラヌヤウデアリマスルガ、併シテ  
ヨット他ニ相當ノ場合モゴザイマセヌデアリマスカラ、茲ニ附  
則トシテ一ツノ提議ヲ致シタイト考ヘタデアリマス、附則  
第何條所得稅ノ附加稅ニ付テハ現在ニ於ケル所得稅ニ對ス  
ル附加稅ノ歩合ヲ増稅ノ結果ニ依ル所得稅ニ對スル歩  
合ニ代ヘテ之ヲ制限率トス前項ノ制限率以上ニハ一切制  
限外附加稅認メサルモノトス是ナデアリマス、モウ一遍讀  
ンデ見マス、所得稅ノ附加稅ニ付テハ現在ニ於ケル所得稅  
ニ對スル附加稅ノ歩合ヲ増稅ノ結果ニ依ル所得稅ニ對ス  
ル歩合ニ代ヘテ之ヲ制限率トス前項ノ制限率以上ニハ一  
切制限外附加稅認メサルモノトス是ハ本員ニ於テハ強ヒ  
テ附則ニセネバナラヌト云フ意味デハゴザイマセヌガ、併シ他  
ニ場所ガゴザイマセヌカラシテ、茲ニ附則トシテ提議イタシマ  
スルガ、御多數ノ議論トシテ或ハ他ニ適當ナ場所ニ之ヲ持  
テ行クト云フコトデアレバ、此趣意サヘ認メラレバ差支ゴ  
ザイマセヌ、是ダケノ意見ヲ提出イタシマス

○政府委員(添田敬一郎君) 唯今阪谷男爵ヨリ地方ノ  
附加稅ノ問題ニ付テ、此場合附則ノモノヲ設ケテ置キタ  
イト云フ御意見ガ出マシタノデ、御承知デアリマス通リ  
ニ丁度此地方稅制限ノ改正ニ付キマシテ唯今法律案ヲ提  
案イタシテ居リマス、デ實ハ此附加稅ノコトニ付テ御意見ノ  
アリマスコトモ唯今始メテ伺ヒタノデ、其附加稅ニ付キマシ  
テハ色々又御説明モ申上ゲマス、又御意見モ伺ヒタイト思  
フデアリマス、其方ニ一ツ御廻シテ願フテ置イテ、御協議ヲ  
地方稅ノ問題マデ留保シテ戴キタイト思フデアリマス、御  
願ヒテゴザイマセヌガ如何デアリマスカ

○子爵青木信光君 私人阪谷君ノ御説ニ賛成デゴザイ  
マシテ、折角所得稅ニ於キマシテ減額ヲ致シマシテモ、地方  
ノ附加稅ガ餘計掛リマシテハ全ク何ノ役ニモ立タヌノデア  
リマス、ソレデ此間モ此處デ御質問ガゴザイマシテ、隨分地  
方稅ハ所ニ依リマシテハ餘程重イ稅ガ掛テ居ルヤウニ考ヘ  
マスノデアリマス、併ナカラ之ヲ所得稅ノ附則トスルニハ法  
文上體裁ガ如何デアリマセウカ、他ニ何カ途ガアリマスレバ、  
其方デ出來マスモノナラバ其方ニ譲リタイト考ヘマス、ソ  
レニ付テハ政府委員ノ方デ、斯ウ云フコトヲ方法  
ガアルトカ云フコトヲ御示シテ下サルト大變參考ニナルノ  
デ、詰リ唯今出テ居リマス明治四十一年法律第三十七號  
ノ改正法律案ノ方デ、斯ウ云フコトノ制限ガ附ケラレルト  
云フコトデアリマスレバ、其委員會ノ方デ修正シテモ宜イ  
ト斯ウ考ヘマス、御趣意ハ阪谷君ニ全然御賛成イタサウト思  
テ居リマス

○政府委員(松本重威君) 唯今阪谷男爵ノ御提出ニ  
ナタ案ノ、内容ニ互ニテ申上ゲマスコトハ差控ヘテ置キマス  
ガ、ドウモ形式カラ申シマスレバ、所得稅ノ方デナク地方稅  
ノ制限ニ關スル法律ノ方ニ御譲リテ願フ方ガ宜シカラウト  
思ヒマス、御參考マデニ申シマス

○和田彦次郎君 唯今ノ政府委員ヨリノ説デゴザイマシ  
テ、他ノ地方稅ニ關スル附加稅ノ法律ニ於テ唯今ノ意味ヲ  
議スルコトニシタイト云フコトデアリマス、ソレハソレガ宜カラ  
ウト思ヒマス、併ナカラ此所得稅法改正法律案ノ委員會ニ  
於キマシテハ、前ニ阪谷男爵ヨリ述ベラレマシタ意志ヲ全然  
附帶條件ト致シマシテ、是ガ違フテハナラヌト云フ意味ニ於  
テ此所得稅法案ハ修正通り決定イタシタイト思ヒマス、斯  
様ナ條件付ニ於テ此委員會ダケハ決定イタシマシテ、而シ  
テ此事ヲ實行スル手續上法律ノ示ス點ニ於キマシテハ、他  
ノ委員會ダケ左様ニナラヌモ宜シウゴザイマセヌカラ、本委員會  
ニ就キマシテハ此趣意ニ違ハヌモノヲ、他ノ法案ニ載セテ貫  
フト云フ條件ノ下ニ決定シタイト思ヒマス

○荒井賢太郎君 唯今ノ明治四十一年三十七號ノ地方  
稅ノ法律ハ、他ノ全ク別ノ特別委員ニ付託ニナラテ居リマス  
ルノデアリマス、此法律案ニ唯今ノコトヲドウ云フヤウナ  
形式デ加ヘテ貫フコトニナリマス、其點ヲ一ツ伺ヒ置キマ  
ス、此處デ決定シテモ其法律案ノ委員會ニドウ云フ形式デ  
御提議ニナリマスカ

○男爵阪谷男爵君 私人考ヘマスニハ、已ムヲ得ズムバ此  
附則トシテ決定シテ置イタ方ガ一番宜カラウト思ヒマ  
ス、併シ今和田君ノ仰シヤルヤウナ意味デ決定イタシテ置ケ  
バ、サウシテ委員長カラ政府ニ言明デモ求メテ置カレコト  
ニシマス、此所得稅法ハソレ確定シテ宜カラウト思ヒマ  
ス、サウシテ荒井君ノ御尋ネノ如キコトハ、茲デ本員ノ提出  
シタ案ヲ御決定ニナラテ、委員長カラ向フノ委員ノ方ニ交渉  
デモシテ貫フコト外仕方ガナイト思ヒマス

○男爵郷誠之助君 私人少シ説ヲ異ニシテ居リマス、既ニ  
他ノ特別委員會ニ於テ付議サルベキ事柄ヲ、此會ニ決定ヲ  
スルト云フコトハ甚ダ首尾相徹底セヌヤウニ思ヒマス、況ン  
ヤ和田君ノ御説デハ之ヲ條件トスルト云フコトデアリマス  
ガ、私ノ存ジテ居ル所デハ既ニ決定シテ居ルト思ヒマス、其  
際ニ於テ御述ベニナレバ格別、是ハ條件ヲ附スベキ場合デ  
ナカラウト思ヒマス、且又斯ノ如キ希望ヲ此會ニ於テ有  
居ルト云フコトハ當然ノコトデ、ソレニ付キマシテハ私ハ全  
然賛成ヲ致シマスケレドモ、此條件ノ下ニ之ヲ決議スルト  
云フコトニナリマス、他ノ特別ノ委員ヲ拘束スルト云フコ  
トニナリマスカラ、此際ニ於テハ之ヲ條件ニスルト云フコトハ  
宜シクナイト思ヒマス

○子爵青木信光君 唯今條件ハ決ツタト云フ御話デゴザ  
イマシタガ、所得稅ノコトハ御待テ願フコトニシテ、マ  
ダ決定シテ居ラヌノデアリマス

○男爵阪谷男爵君 今青木子爵ノ御述ベニナリマシタヤ  
ウニ、鎌田君ヨリ御尋ノアリマシタ時ニ此附加稅制限ノコ  
トハ後デ別ニ議シマスト云フコトデアリマシタカラ、今郷男  
爵ノ御説ハ御説デゴザイマセケレドモ、其ノコトヲ併セテ議  
スルト云フ意味ヲ以テ前ノ修正ノダケガ確定シタコトニ記  
憶イタシテ居リマス、ソレ故ニ若シ他ニ方法ガナイナラバ、之  
ヲ附則トシテ決定シテ差支ナカラウト思フ、サウシテ置ケバ、  
一番確ナコトニナル、サウシテ法律ノ抵觸ノ起リ場合ニハ  
相當ナ手續ヲ以テ他ノ委員會ノト其抵觸セヌヤウニ修正  
ヲシテ差支ナイ、其爲ニ本會議ト云フモノガアル、本會議デ  
抵觸シタ決議ヲスル譯ハナイ、ソレデ皆様ニヨリ良キ案ガナ  
イナラバ、本員ガ提出シタノ附則トシテ、此處デ決定シテ  
置イタ方ガ一番確デアル

○子爵青木信光君 其外ニ、唯今ノ阪谷君ノ御説ニ  
全然賛成イタシマス、他ノ方法ガアレバ何デアリマスガ、方  
法ガナイトスレバ、此處デ決議シテ本會デ抵觸シタナラバ、ソ  
レヲ修正スル、阪谷君ノ御説ニ賛成イタシマス

○男爵郷誠之助君 唯今青木子爵並ニ阪谷男爵ノ御説  
ニ依リテ、此際此處デ決議シテ宜カラウト云フ意味ハ了解イ  
タシマシタ、併シ此會ニ於テ之ヲ他ノ特別委員會ニ於ケル  
他ノ決議ヲ拘束スルト云フコトハ私ハ面白カラヌヤウニ思  
ヒマスカラ、其他ノコトハ他ノ特別委員ノ決議ニ依ルコトニ  
シテ、此際ハ單ニ希望ヲ述ベテ置クト云フコトニ致シタイト  
云フノガ、私ノ趣意デアリマス

○委員長(公爵徳川慶久君) 御諮リヲ致シマス、阪谷男  
爵ノ御述ベニナリマシタ通りデ、此處デ決議ヲスルト云フコ  
トニ御異存ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(公爵德川慶久君) ソレデハサウ云フコトニ此處決定ヲ致シマス

○男爵阪谷芳郎君 丁度大藏大臣ガ御出デニナリマシタノデ、此際一言伺テ置キマスガ、是ハ私一己ノ説デハゴザイマセヌガ、チヨト各派ノ交渉會ノ時ニ出マシタ説デゴザイマスガ、政府ガ戰時稅ヲ提案シタ場合ニ三千五百萬デシタカ見込デ居ラタノ、其三四倍ニモ收入ガナタト云フヤウナコトデアル、此度所得稅法案ヲ御提出ニナツテ、ソレゾレ増收ノ見込ガ立テアルガ、是ガ若シ又非常ニ澤山政府ノテサレタ計算以上ニ、倍ニモ三倍ニモ増收ノアツタハルト、甚ダ不必要ナル苦痛ヲ國民ニ與ヘラレタコトニナリハシナイカ、政府ノ要求スル國防ニ當テル財源ト云フモノハ、豫算ノ見込ガサウ一錢一厘違ハヌヤウニ行クモノデナイガ、前ノ戰時稅ノ時ニ見込ガ餘リニ違ラタ、是ハマア其爲ニ大變又一方ノ收入ノ殖エタト云フ方カラ云ヘバ、結構ナコトデアルト思フ、併シ取ラレル方ノ利害カラ考ヘルト、稅ハ其必要以上ニ取ルベキモノデナイ、ソレデ此度ノ所得稅ノ増收計畫ニ付テハ、此計畫ト云フモノハ、戰時稅ノ時ノ如クニ非常ナル相違ヲ生ズルト云フコトハナイカ、又生ジタ場合ニ於テハソレ等ノ國防ニ於テハ必要ナイモノガ這入テ來タ譯デアアルガ、ソレハ如何ナル處分ヲ考デアアルコト云フコトニ付テハ、議論ガ出マシタ、其一二ノ點ニ付キマシテ、大藏大臣ノ御見込ヲ此處デ言明ヲ願フ置キタイ

○國務大臣(男爵高橋是清君) 戰時利得稅ヲ引證セラレマシタガ、アノ時ノハドウ云フ基礎デ政府ガ豫算ヲ立タカ知リマセヌガ、阪谷男爵モ當時御承知ノ通り工業俱樂部ナリ其他私ハ素人ナガラモ計算シテモ、ドウシテモ一億足ラズノ増收ハ戰時利得稅ニ依テ得ラレルト云フ計算ガ相當ニ確實ニ立タ位ノモノデアアル、アノ當時ニ如何ナル譯デアア云フ基礎ノ上ニ豫定セラレタルモノガ議會ヲ通過シタカ、ソレハ分リマセヌケレドモ、戰時利得稅ハモウ殆ド明クデアッタ、此度ノ所得稅ノ増收計畫ハアノヤウニ違算ヲ生ズルコトハナイト確信シテ居ル、既ニ此見積方ニ付テハ基礎モ政府委員ヨリモ十分ニ御説明ヲイタシタル筈デアリマス、大體ニ於テ成ベク豫算ハ歲入豫算モ實績ニ近寄ラシメタイト云フ方針ヲ以テ實ハ立ツデアリマス、唯今御話ノ如クニ二倍ニモ三倍ニモナルト云フヤウナコトハ餘ホドノ財界ノ變化デモ起テ來ルカ、左モナケレバ戰時利得稅ノ如キ推計上ノ相違ハ生ジナイコト、考ヘテ居リマス、ソレカラ若シ實際ニ於テ餘計取レタ時分ニハドウスルカト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ増稅計畫トシテ立テタモノハ主トシテ配當金ヲ個人ノ或ル他

ノ所得ト繰合シテ、之ニ課稅スルト云フノガ大ナル眼目デアリマシテ、今後之ヲ實際ニ當テドレタケガ今度ノ増收計畫ニ依テ取レタモノノカ、ドレタケガ自然ノ發達ニ依テ所得稅ガ殖エタモノト云フ區別ヲ立テルコトハ、戰時利得稅ノ如クハキリト其處ニ區別ガ立ツマイト思フ、固ヨリ非常ニ歲入ガ多クテ使ヒ途ガナケレバ、是ハ相當其トキノ：先達テモ申上ゲタ通り國債ノ償還トカ或ハ廢減稅ニ用ユルト云フコトニスルカモ知レヌ、而シテ増收ガ多ケレバ多イ程政府ガ濫費シヤセヌカト云フ非難モアリマスルガ、是ハ即チ豫算ヲ立テ、議會ニ始終出スノデアリマスルカラシテ、豫算上ニ於テ十分ニ、若シ政府ニテ使ハズト宜イ方面ニ斯ウ云フ金ヲ使テ居ルト云フコトガアリマスレバ、貴衆兩院議員ニ於テ之ヲ改ムルコトハ勿論出來ルコトデアリマス、併シ私ノ考デハサウ大シク間違ヒハナカラウト思フノデアリマス、度所得稅ノ増收ヲ圖ラタ基礎ヲ能ク御調ヘ下サツナラバ、無論六年度ノ諸會社ノ實績：法人ノ實績ニ依テ居リマス、其トキノ配當ガ各個人ニ歸屬シテ、サウシテ其個人ガ、其後ニ於テ經濟界ノ恐慌ニ連レテ減シテ行ク所得ハ、ソレニ合シテヤルト云フ基礎ニテ居ル、大シク違ハ起ルマイト思フ、併ナガラ何時デモ豫算ヨリハ所得稅ガ多少増收ガアルヤウデアリマス、ソレハ又財界ノ發展、國運ノ増進ニ連レテサウアルベキコト、思ヒマス、所得稅ガ年々減ルト云フヤウナ、或ハ殖エモシナイト云フヤウナコトガアツテハ、ドウモ困ラタモノデアリマス、所得稅ガ年々増加スル、一分トカ二分トカ或ハ一割トカ増加スルト云フコトハ洵ニ日本ノ爲ニ慶事デアラニ是ハ望ム所デアアルガ、其増收ガ、此前ノ戰時利得稅ノヤウニ、此部分ガ今度ノ増收計畫ニ依ル増收デアルト云フ見込ハ立ツマイト思ヒマス

○男爵阪谷芳郎君 唯今本員カラ御尋ネ致シマシタノハ本員一個ノ疑バカリデナイノデ、即チ種々ノ場合ニ本員ガ他カラモ受テタ質問ナノデアリマス、此所得稅ガ戰時利得稅ノトキノヤウニ大ナル増收ガアラウトハ、本員一個トシテハ考ヘテ居リマセヌケレドモ、併シ非常ナル其増稅デアリマスルカラ、國防ニ充テラレタカラ之ヲ忍ブ、國防ノ費用ハ已ムヲ得ヌトシテ之ヲ忍ブノデアアルカラ、其國防ニ充テラレタ以外ニ多大ノ收入ガアツタナラバ、當然減稅セラレベキモノデハナイカト云フノガ、國民一般ノ議論ノヤウデアリマス、大藏大臣ノ御答ノ中ニ減稅モスルカモ知レヌデアナク、サウ云フヤウナ場合ニハ、即チ國防ニ充テタ以外ノ財源ハ相當ニ減稅スルト斯ウ云フ御答ガ得ラレヌノデアリマセウカ、モウ一應：○國務大臣(男爵高橋是清君) 唯今御尋ネニナツタヤウナ意味ニ於テ私ハ其通りシマス云フコトハ御答ハナラヌ

ノデアリマス、實績ニ付テ、所得稅ノ納マツタルノ部分ガ増稅計畫ニ依ルモノカト云フコトハ、ソレガ分ラヌ、ドノ部分ガ自然ノ發達ニ伴ウテ、一體ニ所得稅ガ殖エタ増收ニナルノカト云フ區分ハ、立チ惡イモノデアリマスカラ：

○委員長(公爵德川慶久君) 修正案ハ略、決マリマシタルコトニ務大臣カラ附加稅ノコトニ關シテ何カ御言葉ガアルサウデス

○國務大臣(床次竹二郎君) 今承リマス、所得稅ノ附加稅率ハ此度ノ所得稅法改正ニ依テ自然ニ増稅ニナル其步合ヲ總額ヲ押エテ：詰リ制限率ヲソレニ改訂サレルト云フコトノ御決議ニナルヤニ承リマシタガ、一方地方稅ノ制限擴張ニ關スル法律案ガ他ノ委員ニ御付託ニナツテ居リマス、其ノ方ノコトヲ御參考ニ申上ゲマスルト、此國庫ノ官吏ガ低イ所デハ凡ソ八割位ノ増俸ニナリマス、ソレデ地方稅支辨ニ屬スル吏員モ同様ニ増俸ノ處置ヲ致シタイト考ヘマス、サウ致シマスルソレニ要スル所ノ財源ガ今數ヲ覺エマセヌガ、數千萬圓ハ各ノ府縣並ニ町村ニ於テ要スル次第デゴザイマス、其財源ヲ如何ニシテ得ルカト云フコトガ問題デゴザイマスガ、昨年ノ二十九號法律ニ於テハ、之ヲ地租、營業稅並ニ所得稅ノ附加稅ニ求メタノデゴザイマス、然ル所、此度所得稅法改正セラレテ、其儘ニ去年ノ法律ト同ジヤウナ改正ヲ致スト云フコト、如何ニモ此所得稅法ノ負擔ガ重クナラウト考ヘマシタノデ、所得稅附加稅ノ方ハ三十七號ノ法律ニ依ルコトニ致シマシテ、即チモ一ツ申セバ昨年ノ法律デ附加稅ヲ增加イタシテゴザイマス、其增加イタシタノヲ削除イタシマシテ、昨年以前ノ率ニ引戻シタノデゴザイマス、サウシテ自然此度ノ改正法ニ依ル増稅ノ結果ニ依リ、自然増收ニナル部分ガ幾ラカゴザイマス、是ハ増徴スルコトニナツテ居リマスガ：デ主トシテ所得稅ハ、申上ゲル如ク以前ノ率ニ引戻シテ、此度求メントスル所ノ必要額ハ、地租ト營業稅トノ附加稅ニ依リ支辨スルコトニ案ヲ立テタノデゴザイマス、然ルニ唯今此處デ御相談ニナリマスルヤウナコトニナリマス、又此ニ不足額ヲ生ジテ來マシテ、其不足ハ之ヲ地租若クハ營業稅ニモウ一遍増加イタサナケレバ支辨ガ出來ナイト考ヘマス、デ斯ヤウ相成リマシテハ餘リニ地租、營業稅ノ賦課ニ偏リ過ギハ致シマスマイカト考ヘマス、所得稅ノ附加稅ヲ增加イタシタノデゴザイマスレバ是ハ致シ方モゴザイマセヌガ、前ノ低率ニ引戻シテアル、ソレニモ拘ラズ尙ホ此上ニ率ヲ減ゼラレルト云フコトニナリマス、今申上ゲルヤウナ具合ニ地租ト營業稅トノ附加稅ハ、一層重加サレルコトニナラウト思ヒマス、永年此三稅ノ間ニハ均衡ヲ取テ今日迄參ツノガ、茲ニ崩レルコトニナラウト考ヘマス、尤

モ我々が考へて居ります、地方吏員ノ増俸ヲ致サヌト決心  
イタシマスレバ、ソレハ宜シウゴザイマスケレドモ、併ナガラ是  
ハドウモ今日ノ時勢ト致シマシテ、國庫ノ官吏ニ向テ相當  
ノ増俸ヲ致シマスル以上、地方費支辨ノ吏員ニ向テモ同  
様ニ致スト云フコトハ、已ムヲ得ナイ事柄デアラウト考へル  
ノデアリマス、之ヲ已ムヲ得ナイト致シマスレバ財源ハ何レノ  
所ニカ求メナケレバナラヌ、之ヲ求ムルニハ此所得稅ヲ舊イ  
率ノ低イ所ニ於テ、地租ト營業稅ト均衡ヲ得テ此得率ヲ  
増シト云フコトハ、當局ト致シマシテ穩當ナリヤリ方ト考  
ヘマス、尙ホ此上ニ所得稅ノ率ヲ下ゲラルト云フコトハ一  
層地租ト營業稅トニ持テ行クコトニナリマス、今申上  
ゲマス如ク長年ノ均衡ノ率ヲ破ルコトニナリマス、ドウゾ若  
シ御相談が出来マスナラバ、御考慮ヲ煩ハシタイト思ヒマ  
ス

○伊澤多喜男君 確定議ニナリマシタカ  
○委員長(公爵徳川慶久君) 確定シテ居リマス  
○男爵阪谷芳郎君 酒造稅以外何件カノ案ニ付キマシテ  
ハ...

○委員長(公爵徳川慶久君) 是カラ段々ニ各案ノ決  
採テ行ク積リデゴザイマスカラ、御意見デモ修正説デモ、今  
ノ附加稅ニ付テハ決定イタシマシタカ、其他ノ點ニ付テ、大  
體ニ付テモ、細カイ點ニ付テモ宜シウゴザイマスカ、御意見ガ  
アリマスレバ此際願ヒマス

○若槻禮次郎君 所得稅ノ方ノ他ノ條項ハ未ダ...  
○委員長(公爵徳川慶久君) 修正ダケハ決定イタシマシ  
タガ、他ノ決ハ採テアリマセヌ

○若槻禮次郎君 他ノ條項ヲ言テモ宜シウゴザイマスカ  
○委員長(公爵徳川慶久君) 宜シウゴザイマス

○若槻禮次郎君 今ノ修正ノ條項ノ方ハ實ハ私能ク知  
リマセヌガ、第十條ノ第二項ノ修正ハゴザイマシタカ、チヨ  
ト伺テ置キマス、詰リ配當所得ニ加算スト云フコトデス、ア

レハ如何デゴザイマシタラウカ、之ニ修正ガアリマセヌケレバ、  
私ハ「加算スト」云フヲ「加算セス」ト直シタイ、詰リ一遍標  
準ノ留保所得ノ稅ヲ取テ、積立金ヲ配當ノ方ニ振向ケル  
ト又配當ノ所得稅ヲ取ル、ソレカラ又個人カラ第三種ノ稅  
ヲ取ル、三遍稅ヲ取ルト云フノハ餘リ激シイト思ヒマス、カ  
ラ、其配當所得ニハ入レナイ、是ハ入レルト云フノデ「加算  
スト」アリマスガ、ソレヲ「加算セス」ト修正シタイト思ヒマス、  
方々皆一緒ニ私ハ修正ヲ述ベタイト思ヒマスガ、一ツ宛デア  
リマス

○委員長(公爵徳川慶久君) 先程ノ修正意見ハ通  
居リマスカラ、其他ニ尙ホ修正ガゴザイマシタナラバ、仰シ  
ヤテ戴キマス、若シ賛成ガアリマシタナラバ、ソレ決ヲ採リ  
マス

○若槻禮次郎君 賛成ガナケレバ仕方ガアリマセヌガ、一  
應述ベマス、第十四條ノ所デ「山林ノ所得」ト云フヲ、之ヲ  
「山林伐採ノ所得」ト修正シタイト思ヒマス、是ハ此間カラ  
何遍モ質問應答ガアリマシタカ、先ゾ私ハ此伐採ト云フコ  
トヲ言フ意味ハ、政府委員ハ能ク御分リニナテ居ルと思  
フデアリマス、唯昨日ノ御答辯ニ依テ、伐採ノ時機ニ至  
テ會社ニ賣、タ場合ニ、前ニ賣、タ人ノ所得稅ハ取レヌデ  
ケヌノガアル、ソレニ對シテ私ハ第二項トシテ「伐採期ニ至  
リタル山林又ハ立木ノ賣渡ハ伐採ト看做ス」、斯ウ云フ條  
項ヲ一ツ置イテ、其時ニ他ニ賣、タモノノ所得稅ヲ取ル、間  
ノ賣買ハシナイヤウニ致シタイト思ヒマス、兎ニ角私ハ二ツ  
ダケ茲ニ修正ノ意見ヲ提出イタシタイト思ヒマス

○委員長(公爵徳川慶久君) ソレハ何條デアリマスカ  
○若槻禮次郎君 衆議院ノ修正ノ第十條デアリマス、其  
衆議院ノ修正ノ第二項ニ「法人ノ積立金ヲ減少シテ利益  
ノ配當又ハ剩餘金ノ分配ニ充當シタル金額ハ之ヲ前項ノ  
配當所得ニ加算ス」、トアリマス、ソレヲ「加算セス」ト修正シ  
タイト思ヒマス

○委員長(公爵徳川慶久君) ソレカラ山林ノ方ハ...  
○若槻禮次郎君 ソレハ後ノ方ノ第十四條ノ三ト云フ所  
ニ「山林ノ所得」トアリマス、ソレヲ「山林伐採ノ所得」ト云フ  
風ニ「伐採」ノ一字ヲ入レタイ、是デ以テ決ヲ採テ戴キタイ  
ト思ヒマス、此修正ノ結果トシテ後ノ方皆直サナケレバ  
ラヌコトニナリマスガ、ソレハ私ノ修正意見ガ成立タナケレバ  
其所デア申スニ及ビマセヌカラ、申上ゲマセヌ、成立テ行ケ  
バ之ニ牽聯シテ後ノ方直サナケレバナラヌ、唯此伐採ニ付  
テノ條項ノミデハ政府デ御反對デアリマセウカラ、第二項ヲ  
設ケテ、伐採期ニ至リタル山林又ハ立木ノ賣渡ハ伐採ト看  
做ス」ト云フ條項ヲ一ツ加ヘテ、ソレカラ牽聯シタモノハ後デ  
致サウト思ヒマス、其趣意ハドウカト云ヒマス、山ヲ賣、タ

時ニ直グ所得稅ヲ取ラウト云フノガ原案デアリマス、所ガ段  
段間イテ見ルト斯ウ云フコトガ起リサウデアリマス、幼木林  
ハ取ラヌト云フコトヲ昨日仰シヤッタガ、唯今二十年經テ  
時ニ山ヲ賣、タ、其時ニ賣、タ代金ノ中ノ立木ノ所得ヲ御取  
リニナラヌノガ原案デアッタ、今度買、タ人ガ全部得ラナイ、  
間伐スルサウデアリマス、木ヲ二年ナリ三年ナリ一遍ツツ  
千本アレバ其中カラ五本本ツツ伐テ何遍モ賣ルサウデア  
リマス、其間伐ノ時ハ稅ヲドウシテ御取リナルカ、賣買價格  
ニ對シテ必要ノ經費ヲドウシテ御覽ニナルカ、賣買價格ヲ  
其中カラ引クト云テモ、全部ナラ分ルケレドモ、五十本ニ  
對スル賣買價格ハドレダケト云フコトハ殆ド勘定ニナラ  
ヌ、ソレデアアルカラ間伐始終山林ノ所得ヲ取ラレルト云フコ  
トハ面倒デ困ルカラ、是カラ愈、最後ニ至テ伐採スル時ニ  
所得稅ヲ取テ、間ノ賣買ニハ所得稅ヲ取ラヌト云フノガ私  
ノ修正ノ案デアリマス、併ナガラソレニ對シテ政府ノ御非難  
ハ、サウ云フ風ニスルト若シ伐採スル時ニ當テ會社ニ山ヲ  
賣、タ仕舞フト云フト、其前ニ賣、タ所ノ所得稅ハ、脫稅ニナ  
ル、脫稅デモアリマスマイガ漏レテ仕舞フトトニナル、斯ウ云  
フ御非難ガアツタカラ、其場合ニ對シテソレヲ伐採ト看做ス  
ト云フ條項ヲ入レテ、伐採期ニ至、立木ナリ山林ヲ賣、タ  
場合ハソレヲ伐採ト看做ス、斯ウ云フ條項ヲ一ツ入レテ、是  
デ政府ノ御心配ハ除ケルト思ヒマス、サウシテモ成ベク現在  
ノ所得稅ノ便利ヲ圖リタイト云フノガ、伐採ト云フ字ヲ入  
レル趣意デアリマス、加算ストト云フノヲ「加算セス」ト云フ  
コトニ直シタイト云フノハ、三度マデ稅ヲ取ルノハ無理ダ、二  
度デ澤山デアラウ、元來政府ハ初メニハサウ云フコトヲ豫期  
シテ居ラナカク、衆議院ガ配當所得ト云フモノヲ入レタカ  
ラ、偶然斯ウ云フコトヲ入レルヤウニナサレタデアリマシテ、  
ソレヲ取ラヌノガ至當デアアル、ソレズ」ト云フコトヲ「セズ」  
ト直スノデアリマス

○政府委員(勝正憲君) 唯今ノ修正意見ニ付テ一言述  
ベテ置キタイト思ヒマス、其第一點ハ第十條第二項ヲ改メ  
マシテ、「法人ノ積立金ヲ減少シテ利益ノ配當又ハ剩餘金  
ノ分配ニ充當シタル金額ハ之ヲ前項ノ配當所得ニ加算ス」  
ト云フコトニ原案ガナテ居ルノヲ、加算セナイコトニシタイ  
ト云フ御趣旨デアアルヤウデアリマス、成ルホド一應之ヲ考  
ヘマスレバ、誠ニ御尤ノ御意見ノヤウニ思ハレマスガ、サウ云  
フコトニ致シマス誠ニ不都合ナコトガ起リマス、其點ニ付  
キマシテ政府モ相當ノ考慮ヲ費シテ居ル積リデアリマス、此  
配當所得ト云フモノハドウ云フ性質ノモノデアルト申シマス  
レバ、法人ガ各事業年度ニ於テ配當シタル金額ニ對シテ、之  
ニ源泉の課稅ヲ行カウ、斯ウ云フ趣意デア出来テ居リマ  
ス、然ルニ法人ガ既往ノ事業年度ニ於テ、一定ノ金額ヲ社

内ニ留保シテ居リマシタ場合ニ於キマシテハ、其金額ニ對シテハ勿論何等配當所得トシテ課稅ガ加ヘラレテナイノデアリマスカラ、ソレヲ繰出シテ配當イタシマス際ハ、其際ニ於テ配當所得トシテ所得稅ヲ課スルニ何モ其間ニ重複ノ觀念ハナイノデアリマシテ、苛酷デアルトク、重複スルト云フコトヲ御考ヘニナルコトハナカラウト思ヒマス、唯其積立金ヲ繰出シテ配當シタ場合、ソレヲ積立金ニ致シマス際ニ於テ原案ニ於テハ七、五ノ留保課稅ヲシテ居リマス、一應留保課稅ヲシタ金額ヲ繰出シテ配當シタ、之ニ課稅スルノハ如何ニモ苛酷デアルト云フ御意見デアルカ知リマセヌガ、ソレハ少シ關係ガ違フノデアリマス、既往ノ積立金ヲ繰出シテ配當イタシマスレバ、既往ニ積立ヲスル際ニ七、五ノ留保課稅ヲスルト同時ニ、配當スル際ニ又配當課稅ヲ致シマスガ、其會社ガ將來ニ於テ積立金ヲ致シマス際ニ、其既往ノ積立金ヲ繰出シタ金額マデ何等課稅イタシマセヌ、所謂「テンポット」ノ制度ヲ採リテ居リマス、言葉ヲ換ヘテ平ラタク申シマスレバ、既往ノ積立金ヲ繰出シテ配當ヲ致シマスレバ、配當課稅ヲ取リマスガ、留保課稅ト云フモノハ、割戻シテヤルト云フコトニ計算上ナクテ參リマスカラ、何等ソコニ重複ノ疑ヒハナイノデアリマス、サウ云フ次第デ留保課稅ト配當課稅ト云フモノハ、觀念上ニ於テモ計算上ニ於テモ、何等重複ヲ來サナイノミナラズ、茲ニ御提案ノ如ク第二項ノ「加算ス」ト云フコトヲ「加算セズ」ト致シマスレバ、斯ウ云フ場合ガ起リマス、法人ガ其事業年度ノ所得ヲ其儘配當スレバ百分ノ四ノ配當課稅ヲサレケレドモ、之ヲ一應積立金ニ廻ラシテ置キマシテ、次ノ事業年度ニ繰出シテ配當スレバ配當課稅ヲ受ケルコトニナル、斯ウ申スト配當課稅ヲ受ケルノハ留保課稅ヲ受ケテ居ルカラ宜イデハナイカト云フコトガ出テ參リマスガ、一應積立金ヲ繰出シテ配當スレバ積立金ガ減テ參リマス、其次ノ事業年度ニ更ニ積立金ヲシテモ何等留保課稅ヲスルコトガ出來マセヌ第三ノ事業年度ニ復タ繰出シテ配當スレバ之ニ配當課稅ヲスルコトハ出來ヌコトニナリマス、然ルニ第四ノ事業年度ニ留保シテ置クト又其金額ニ相當スルダケノ留保課稅ハ出來マセヌ、詰リ一遍留保スル權利ヲ取テ爲ニ其留保シタ金額ヲ循環サシテモ配當課稅ニ影響ガ一向ナイト云フコトハ甚ダ不都合ナ結果ヲ生ズルト思ヒマス、ソレデ特ニ考慮シタ結果、第十條ノ第二項ガ加ヘラレタモノト解釋シテ居リマス、此點ハ宜シク御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ山林ノ所得ノ改正ノ御意見ニ付キマシテモ、大抵了解シテ居リマスケレドモ、第一點ニ御尋シテ置キタイト思ヒマスノハハ山林ヲ仕立タ者ガ山林ヲ伐採セズシテ賣却シテ、買受人ガ其山林ヲ伐採シテ所得ヲ得タト云フ場合ハ、其買入代金ヲ必要經費トシテ引カナイト云フ前提ノ下ニ

御修正デアラウト思ヒマス、左様了解シテ宜シウゴザイマスカ

○若槻禮次郎君 モウ一度ドウゾ...

○政府委員(勝正憲君) 山林ヲ伐採シテ所得ノアツタ者ハ、其所得者ガ山林ノ立木ノ儘買入タ者デアッタ場合ニ於キマシテ、其買入代金ヲ伐採所得金ノ中カラ必要ノ經費トシテ控除シナイト云フ前提ノ御修正意見ト思ヒマスガ...

○若槻禮次郎君 サウデゴザイマス

○政府委員(勝正憲君) ソレデハ其點ニ付キマシテ私ノ疑念ハ一應消エテ參リマシタケレドモ、唯今ノ修正ノ御意見デハ、其山林ガ伐採期ニナラ居レバ、縦ンバ伐採シナクテモ、立木ノ儘賣買シテモ伐採ト看做スト云フ規定ヲ置カウト云フ御考デアリマスガ、第一、山林ガ伐採期ニナラ居ルカドウカト云フコトノ事實ノ認定ハ、非常ニ困難ガ伴フノデアリマス、又第二ノ點ハ山林ガ伐採期ニナラ居ル以上、立木ノ儘賣買シテモ之ヲ伐採ノ所得ト看做スト云ヒマス、伐採期ニナラ山ヲ轉々賣買イタマシス場合ニ於キマシテハ、修正意見ヲ御提出ニナリマシタケレドモ其結果ハ矢張り此改正案ノ結果ト全ク同ジニナルノデ、何モ御修正ニナラカラト云テ、其關係ニ於テマルデ實益ノナイコトニナリハセヌカト懸念イタシマス

○若槻禮次郎君 今ノヤウナ御意見ガ出レバモウ少シ補足シテ置キタイデアリマス、一旦積立金ヲソレヲ特別ニ配當シテ第三種ノ所得者ニ配當スルト、モウ一遍配當所得稅ヲ取ラレル、其場合三度稅ヲ取ラレルノハ餘リ苛酷デアルカラ之ヲ止メヤウト云フ趣意デアリマス、サウスル政府ノ御考ハ茲ニ弊害ガ生ズル、其弊害ノ生ゼザル前ニ先ヅ以テ之ニ向テ政府ノ原案デ、積立金ヲ壞ハシタダケハ後カラ稅ヲ取ラヌト云フ救済方法ガアルカラ差支ナイト斯ウ言ハレル、是ハ併シ此衆議院ノ修正ヲシナイ時カラアル、衆議院ガ配當所得ニ加算セヌ時カラアル、若シ政府ハ假リニ是ガナカッタストドウシマスガ、政府ハ其積立金デ一遍百分ノ七、五取テ居ルカラ、ソレヲ特別配當シテモ、ソレハ稅ヲ取ラヌト云フ考デアリマス、其コトサヘ分リマスレバ何モ其時特別配當スル、ソレニ課稅スルコトニナラヌ、ソレハ衆議院ガ修正ヲシタカラ怒ガ出タ、アレガ無ケレバ斯ウ云フコトハナカッタガ、アレガアルカラ序ニ取テ仕舞フト云フ怒ガ出タト思ヒマス、政府ノ原案ノ儘留保所得ト配當所得ノ場合トトヤント向キ合ハシテアリマス、ソレハ弊害ヲ生ズルコトハ積立金デ百分ノ七、五ヲ取テ居リマス、ソレガ翌年ニナラテ特別配當スレバ取ラヌコトニナル今度積立金ガ前年ト同ジヤウニ増セバ取ラヌ、又翌年ニナラテ配當シタ、ソレニ配當課稅ガ掛ラヌト、斯ウ仰シヤルガ、併ナガラ三年目ニサウ

云フ積立金ヲスルトカ、留保所得トシテ課稅スル...

○政府委員(勝正憲君)「シナイ」ト述ブ

○委員長(公爵德川慶久君) 是ハ皆サンノ御都合デアリカラウト思ヒマス、ソレデハ尙暫クヤリマシテ、各案ニ付イテ順ニ決テ取テ參リマス、所得稅法案ハ今ノ酒稅ト附加稅ニ關スル各項ヲ加ヘテ、他ノ點ハ全部御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○男爵阪谷芳郎君 修正ガアリマス

○委員長(公爵德川慶久君) ソレハ先程御話シタ通り委員長ニ任セラレテ、字句ハ政府ト御相談シテ委員長ガ決定シマセウ

○男爵阪谷芳郎君 八十一條ノ修正ハ餘程重イモノデアリマス

○委員長(公爵德川慶久君) 承知イタシマシタ、ソレカラ所得稅ノ施行ニ關スル法律案、是モ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フモノアリ〕

○委員長(公爵德川慶久君) 全會一致ト認メマス、酒造

○子爵青木信光君 引續イテ... 是ハ酒造稅デスカラ少シ御勉強下サレテ...

○委員長(公爵德川慶久君) 是ハ皆サンノ御都合デアリカラウト思ヒマス、ソレデハ尙暫クヤリマシテ、各案ニ付イテ順ニ決テ取テ參リマス、所得稅法案ハ今ノ酒稅ト附加稅ニ關スル各項ヲ加ヘテ、他ノ點ハ全部御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○男爵阪谷芳郎君 修正ガアリマス

○委員長(公爵德川慶久君) 承知イタシマシタ、ソレカラ所得稅ノ施行ニ關スル法律案、是モ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フモノアリ〕

○委員長(公爵德川慶久君) 全會一致ト認メマス、酒造

税ニ關スル法律案、御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フモノアリ

○委員長(公爵徳川慶久君) 是モ御異議ナイモノト認メマス、酒精及酒精含有飲料ニ關スル法律案、是モ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(公爵徳川慶久君) ソレカラ政府提出ノ麥酒税法改正案、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(公爵徳川慶久君) ソレカラ衆議院提出、麥酒税法ニ付テノ改正モ御異存ゴザイマセヌカ

○若槻禮次郎君 ソレハ異議ガアル

○男爵郷誠之助君 是ハ否決ノ方ニ賛成

○委員長(公爵徳川慶久君) ソレニ付テ何カ御意見ガゴザイマセカ：無ケレバ決ヲ採リマス

○男爵阪谷芳郎君 一向説明ガ分ラヌ、マダ調査ガ済マヌノデ、之ヲ決議スルコトハ甚ダ惡例ダト思ヒマス

○委員長(公爵徳川慶久君) チヨット申上ゲマスガ、此案ハ數日前ニ此委員ニ附託サレテ、調べテ居ラヌト云フノハコナラカ缺點デアラウト思ヒマス、御尋ネ下サレテモ一向差支アリマセヌ

○男爵阪谷芳郎君 問題ガ其處マデ這入ッテ居リマセヌ

○委員長(公爵徳川慶久君) 所得税バカリデナク、全部ヲ問題ニ供シテ居リマス

○男爵阪谷芳郎君 兎ニ角私ハ見テ居リマセヌ

○若槻禮次郎君 ソレハ私ハ此會議ニ掛ッテ居ルト思ヒマスガ、此案ハ衆議院提出ダカラ否決ヲスルト言ハレマスガ、是マデ米ヲ入レテ居ッテモ出來ルト同ジコトデ、澱粉ヲ少シ入レテモ出來ルコトニナッテ居リマス、北海道ノ様ナ所ハ澱粉ガ澤山出來ル所カラ澱粉ヲ入レテ米ノ爲メニ使フノハ宜イノデ、大シタ案デナイノデ、直チニ否決セラレルコトヲシナイデ、私ハ衆議院ノ案通り可決シテ宜カラウト思ヒマス、大シタモノデナイ、米ヲ入レテモ宜イ、澱粉ヲ少シ入レテモ宜イ、何デモナイ

○子爵青木信光君 政府委員ノ此案ニ付テノ御意見ヲ伺ッテサウシテ：

○委員長(公爵徳川慶久君) 先キホド御述ベニナッテト思ヒマス

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ先ヅ政府提出案ヲ御決メニナッテ、衆議院ノ提出案ニ質問ガゴザイマスレバ、豫算總會議事散會後ニ願ヒマス

○委員長(公爵徳川慶久君) ソレデハ暫ク此衆議院送付案ハ留保シテ置キマシテ、四十年法律第二十一號改正

案御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(公爵徳川慶久君) ソレカラモウ一ツ四十一年法律第二十四號改正案、是モ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(公爵徳川慶久君) ソレデハ一ツ衆議院送付案ガ殘ッテ居リマスカラ、是ハ豫算委員會散會後ニ開クコトニ致シマス、ソレマデ休憩ヲイタシマス

午後零時十八分休憩

午後零時十九分散會

出席者左ノ如シ

委員長 公爵徳川

副委員長 子爵青木

委員 子爵八條

男爵村上

和田

男爵阪谷

荒井

男爵藤村

男爵藤田

若槻

伊澤

市來

早川

鎌田

中村

西川

大藏大臣 男爵高橋

内務大臣 床次

内務省地方局長 添田

大藏省主税局長 松本

大藏書記官 勝

敬一郎君

重威君

正憲君

政府委員

國務大臣

委員

慶久君

信光君

隆正君

敬次郎君

彦次郎君

芳郎君

賢太郎君

義朗君

誠之助君

平太郎君

禮次郎君

多喜男君

乙彦君

千吉郎君

勝太郎君

圓一郎君

甚五郎君

是清君

竹二郎君

大正九年八月二十六日印刷

大正九年八月二十七日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局